

京都市中央市場新水産棟の全面オープンについて

～Ⅱ期エリア（塩干・総合部門）及び見学エリアが完成～

1 新水産棟の概要（Ⅰ期エリアを含む）

(1)施設規模等

構 造 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造

建築面積 約29,200㎡ 延べ床面積 約42,100㎡

南北全長 約300m 東西最大幅 約150m

建物高さ 約20.8m（地上3階建て）

Ⅱ期エリア営業開始 令和5年3月22日～

総工費 約170億円



1 新水産棟の概要（Ⅰ期エリアを含む）

(2) 主な特徴 ア 衛生管理の向上

◇閉鎖型施設による最適な温度設定



最新の食品安全国際規格に対応した高度な衛生管理を実現

◇清潔な棟内環境の保持



入場時や清掃時の消毒を徹底

◇コールドチェーンの確立



専用のトラックバースを通じて直接商品を入出荷

1 新水産棟の概要（Ⅰ期エリアを含む）

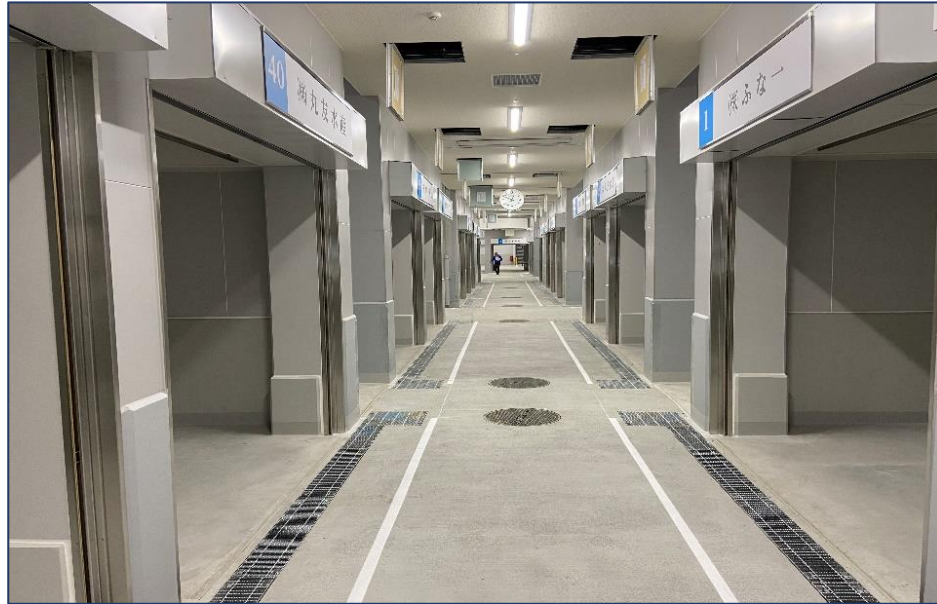
Ⅰ 物流の効率化

◇円滑な業務オペレーションを実現



東西にトラックバースを配置し、商品の入出荷動線を明確に分離
また、各所に荷捌きスペースを設置

◇買出人動線の整理・集約化

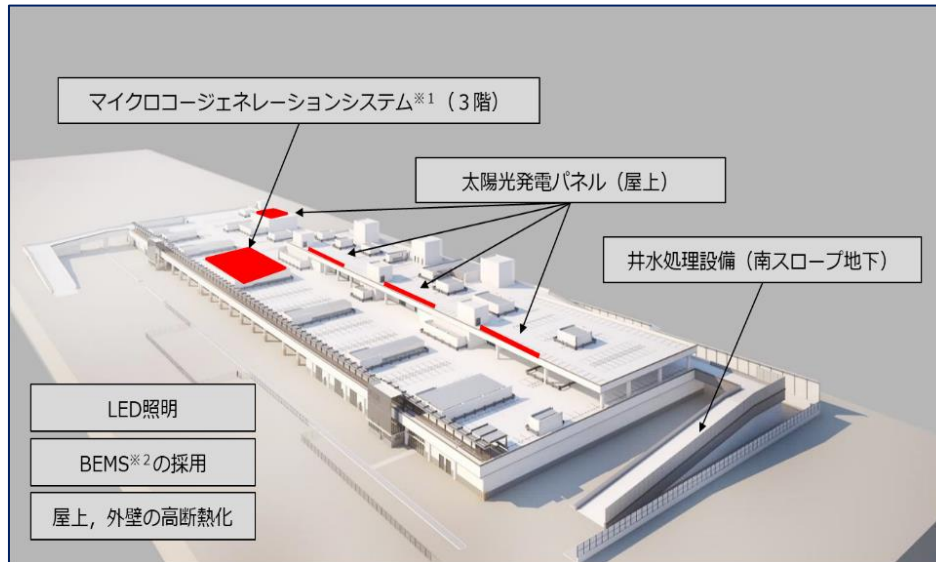


店舗ごとに時間をかけた品定めが可能となるよう、買出人動線を整理・集約化

1 新水産棟の概要（Ⅰ期エリアを含む）

ウ 環境への配慮と災害時の業務継続

◇環境負荷の低減と耐震性能の向上



- ※1 マイクロコージェネレーションシステム：ガスを利用し、電気と熱を生産することにより、エネルギーを効率的に活用するシステム
- ※2 BEMS：使用量の可視化等により、エネルギーを適切に管理し、省エネを実現するシステム

環境配慮型設備の導入や井水の活用、建物の耐震性強化により、災害時の業務継続性を確保

エ 安全・安心な歩行空間の創出

◇プロムナード（歩行者専用通路）の設置



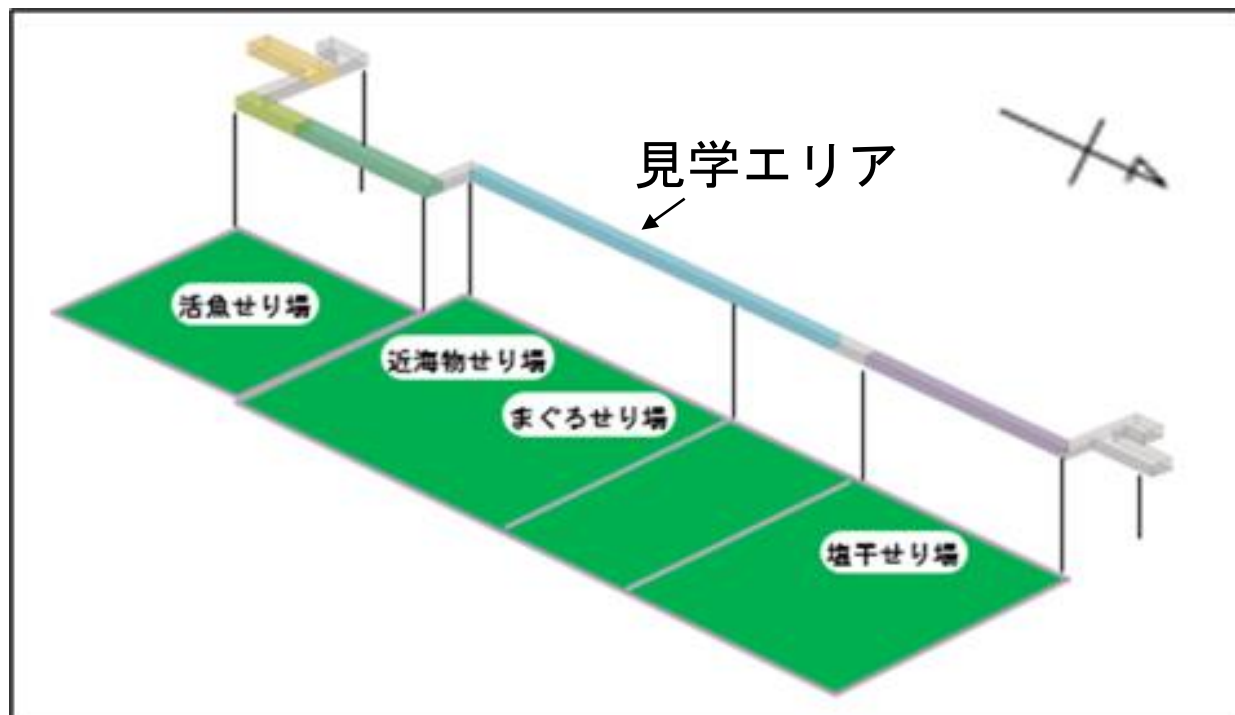
3階のプロムナードとホテルエミオンを連絡デッキでつなぐことで、JR梅小路京都西駅と直結

将来的に新青果棟にも延長し、五条通と七条通間の歩行空間を創出

2 見学エリアの概要

(1)施設規模等

設置場所	新水産棟西側 2 階	総延長	約 2 6 0 m
通路幅	約 1. 5 ～ 4 m	天井高	約 2. 2 m
供用開始	令和 5 年 4 月 1 日～	供用時間	午前 5 時から午後 5 時まで
閉所日	水曜日（祝日を除く）及び年末年始（1 2 月 3 1 日～1 月 4 日）		
見学料	無料	整備費	約 1. 5 億円



※営業・物流動線とは完全に分離し、見学者の安全と食品の衛生管理を確保

2 見学エリアの概要

(2)設置趣旨

- ア 京都市中央市場の役割や機能、重要性を知ることにより、市場流通食材の消費拡大につなげる。
- イ 「京の食文化」の奥深さや素晴らしさに触れることにより、その更なる継承・発展につなげる。
- ウ 産地や食材の大切さを学ぶことにより、食育の振興や食品ロスの削減につなげる。

という大きく3つのねらいに基づき、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」に代表される食文化の振興やSDGsの実現などに寄与していきます。

また、近隣施設等との連携により、「京都駅西部エリア」をはじめとする地域の活性化に貢献します。

2 見学エリアの概要

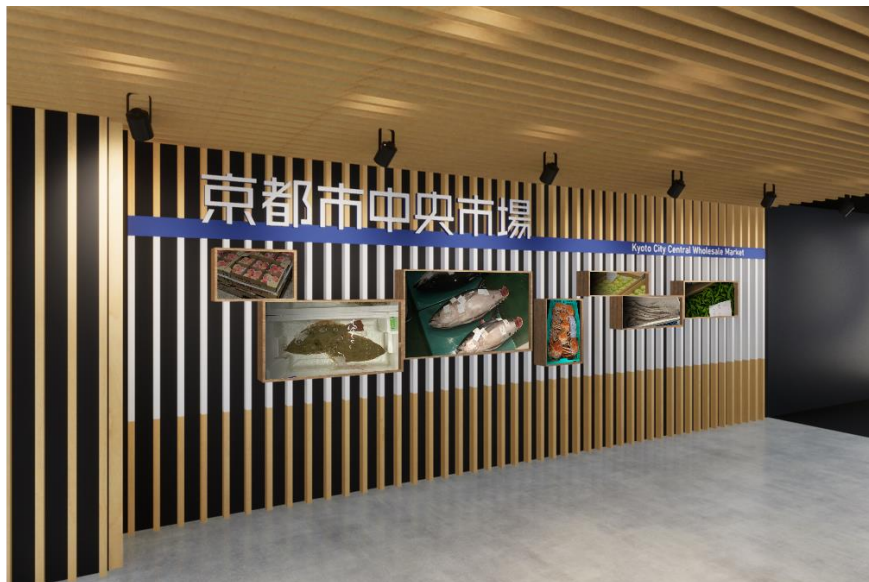
(3)主な展示内容

<エリアマップ>



2 見学エリアの概要

① エントランス



水産物や青果物をあしらったデザインで
市場の賑わいを演出

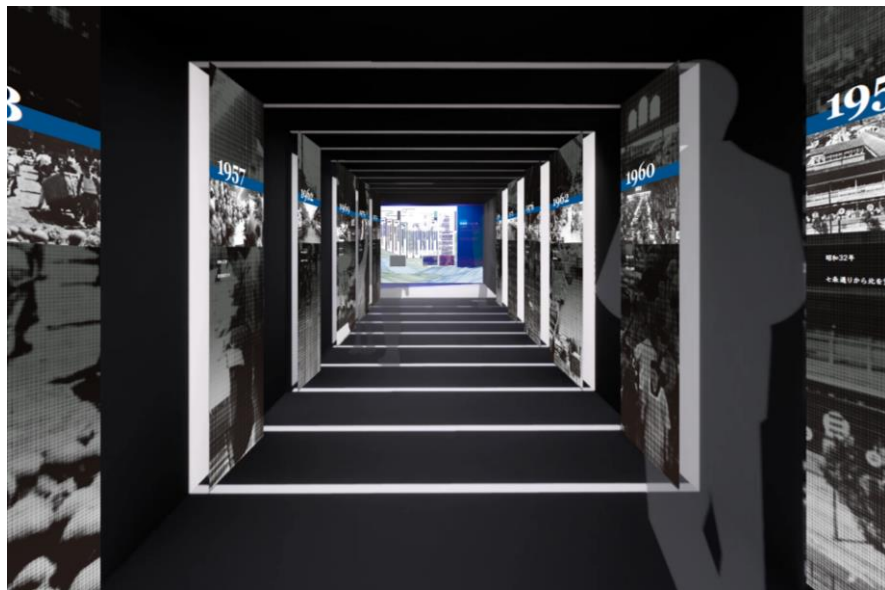
② ガイダンスシアター



「食」を支えてきた京都市中央市場のイメージを迫力ある映像で伝える大画面スクリーンを設置

2 見学エリアの概要

③ 時を超えて受け継ぐ役割



市場の歴史や役割をわかりやすく解説

④ 産地と消費者をつなぐ市場の流通



手を近づけると動き出すアニメーション映像等を用いて市場の流通をダイナミックに表現

※画像はイメージです。

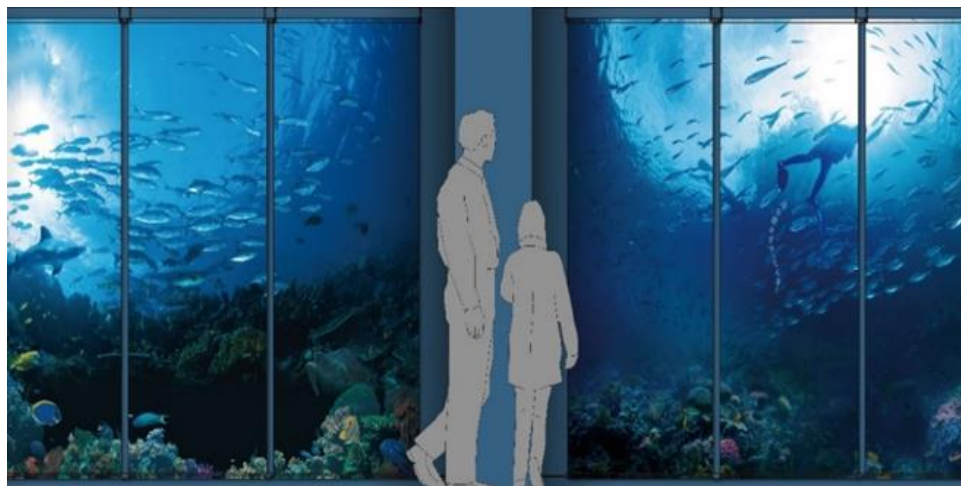
2 見学エリアの概要

⑤ 臨場感溢れるせりの様子



大きな窓からの視界と流れる現場の音声により、臨場感溢れるせりの様子を体験
また、せりの時間外でも、直前のせりの様子を映像で視聴可能

⑥ 通路演出（海の恵みがやってくる等）



あたかも海の中を歩いているかのような仕掛けなどを通路の各所に用意

2 見学エリアの概要

⑦ 水産物と駆け抜けるプロの1日



場内事業者の仕事や熱い想いをグラフィックやインタビュー映像等を用いて紹介

⑧ せり ON STAGE



ビニールカーテンで仕切り、冷風を流すとともに、せりの緊迫した様子を3面モニターでドラマチックに再現

※画像はイメージです。

2 見学エリアの概要

⑨ 進化を続ける「京の食文化」



「京の食文化」の歴史的・文化的背景や、本市の取組、文化庁の京都移転の意義などを解説

⑩ タッチ de 市場クイズ



大人も子どもも楽しめる食材に関する豆知識などのクイズをタッチパネルで出題

2 見学エリアの概要

⑪ モートライドツアー



「モートル」に乗って、普段は入れない新水産棟の中を映像と音響で巡る体験コーナーを設置

⑫ フォトスポット



ユニークな写真撮影ができる楽しいフォトスポットを各所に用意

3 主な整備経過及び今後のスケジュール

年度	施設整備
平成26年度	・「京都市中央市場施設整備基本計画」策定 (平成27年3月)
令和3年度	・新水産棟Ⅰ期エリア(鮮魚部門)供用開始 (令和3年9月22日～)
令和4年度	・新水産棟Ⅱ期エリア(塩干・総合部門)供用開始 (令和5年3月22日～) ・新青果棟整備実施設計の完了
令和5年度以降	・見学エリア供用開始(令和5年4月1日～) ・新関連棟整備工事(令和8年度完成予定) ・新青果棟整備工事(Ⅰ期エリア：令和7年度完成予定) ・新青果棟整備工事(Ⅱ期エリア：令和10年度完成予定)

令和9年に迎える市場開設100周年に向け、引き続き市場関係者と連携しながら、再整備に取り組んでいきます。